

練馬区リサイクル推進計画の平成 22 年度進捗状況について（報告）

平成 21 年 3 月に策定した「練馬区リサイクル推進計画（計画期間：平成 21 年度～25 年度）」の平成 22 年度の進捗状況について、以下のとおり報告する。

1 進捗状況総括表

	取り組み 項目数	新規実施	継続実施	目標達成	未実施	目標未達成
重点的 取り組み	8	1	4	3	0	0
		実施・達成数 8（100%）			未達成・未実施数 0（0%）	
継続する 取り組み	47	2	43	0	2	0
		実施・達成数 45（95.7%）			未達成・未実施数 2（4.3%）	
合計	55	3	47	3	2	0
		実施・達成数 53（96.4%）			未実施・未達成数 2（3.6%）	

重点的取り組み：計画期間内に目標の達成をめざす取り組み。

継続する取り組み：前計画（計画期間：平成 18 年度～22 年度）から継続する取り組み。

2 評価

（1）重点的取り組み

新規に実施した取り組みは 1 項目あり、項目 5 b) の「資源回収事業のしくみづくり」では容器包装プラスチックの回収を練馬区都市整備公社へ委託し資源化事業の効率化を進めた。

目標を達成した項目は 3 項目あり、項目 4 の「区民が自主的に行うごみ減量・リサイクル活動の促進」では集団回収の登録団体数および回収量を前年度より伸ばすこと、項目 5 a) の「資源回収事業のしくみづくり」では街区路線の回収場所および回収量を増やすことについて、それぞれ目標を達成した。また、項目 6 の「ストックヤード等の確保」では平成 22 年 11 月に練馬区資源循環センターを開設し、粗大ごみの日曜収集や粗大ごみ・資源の持込事業を実施し、目標を達成した。

以上より、8 項目全てで実施・達成（前年度 7 項目）となり、進捗割合は 100%（同 87.5%）となった。

(2) 継続する取り組み

新規に実施した取り組みは2項目あり、 - 1 - の「広報・PR活動の充実」では清掃リサイクル分野の情報誌「ねりまの環」を平成23年3月に創刊し、 - 2 - の「環境に配慮した事業活動の促進」では平成22年7月に事業者向けのセミナーで講演を行った。

未実施・未達成の取り組みは2項目あり、 - 2 - の「自動販売機における容器等の回収設備の設置と資源化の促進」では自動販売機設置の実態把握が難しいため、個々の設置者に対して要望するまでには至らなかった。 - 2 - の「組織のあり方の検討」では組織づくりにまでは至らなかった。

以上より、実施・達成数は47項目中45項目(前年度41項目)で、進捗割合は95.7%(同87.2%)となった。

(3) 総合評価

実施・達成数は55項目中53項目(前年度48項目)で、進捗割合は96.4%(同87.3%)となり、本計画の取り組みは着実に実施されている。

なお、今後の取り組みについては、平成23年3月に策定した「練馬区第3次一般廃棄物処理基本計画」(計画期間：平成23年度～32年度)にリサイクル推進計画を含めて改定していることから、新たな施策体系の下で取り組みを実施し、目標の達成をめざしていく。

3 進捗状況一覧表

凡 例	
【進捗評価】欄の表示	印：新しい取り組みを実施した項目
	印：計画を継続して実施または継続して検討している項目
	印：目標値を達成した項目
	印：目標値の未達成項目
	×印：計画の未実施項目

(1) 重点的取り組み

項目 1

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(1) 子どもの頃からの環境教育			
項目	保育園・幼稚園・学校等での環境・3R教育の推進			
目標	分別体験や3R学習を区立小学校69校、区立幼稚園5園、区立保育園60園で実施すること 22年度より区立小学校は統廃合により65校となった。			
取組内容	a)リサイクルセンターを中心として、区立小学校、区立幼稚園、区立保育園での分別体験や3R学習等を実施する。	進捗状況	リサイクルセンターでは、子ども向け環境教室を開催した。 施設数：延71施設 参加者数：延3,752人 (子ども3,217人、大人535人) 清掃事務所では、ふれあい環境学習を実施した。 小学校：64校(5,682人) 保育園：50園(2,940人) 幼稚園：1園(51人) 区立以外に私立幼稚園・私立保育園・小学校特別支援学級・中学校・高校でも実施した。6校(517人)	概ね目標値を達成しており、取り組みを継続している。

項目 2

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(2) 環境学習の推進			
項目	リサイクルセンター等地域拠点の充実			
目標	4館目となるリサイクルセンターの設置について、土地の確保等や4つの館の運営等に関する計画を策定すること			
取組内容	a)練馬区新長期計画(H18~H22)で位置づけている4館目となるリサイクルセンターの設置をより具体的に明らかにするとともに、3館目となる豊玉リサイクルセンターを清掃事務所と連携しながらごみの発生抑制やリサイクルのしくみづくりの場となるようにする。	進捗状況	豊玉リサイクルセンターで実施している粗大ごみの再利用のモデル事業は、23年度から3つのリサイクルセンターで本格実施をするにあたり、3つのリサイクルセンターで関係部署と協議を行った。 また、4館目のリサイクルセンター候補地の建設条件等について関係部署との協議を行った。	4館目の候補地が示され設置に向けて取り組みを行っている。

項目 3

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして		
	2 ごみの発生抑制を優先する活動		
	(2) 事業所での発生抑制		
項 目	リサイクル推進店(エコストア)制度の見直し		
目 標	区内店舗との協定を締結すること		
取組内容	a) 事業者自らが、容器包装の減量目標等を定め、達成状況を報告するようなエコパートナーショップ制度を検討し、区内の店舗への導入を進める。	進捗状況	<p>国が推奨するエコパートナーショップ制度導入の検討を行ったが、区内店舗への導入については課題があり、商店会等が参加しやすい新たな施策を検討することとした。</p> <p>進捗評価 制度の検討を進めた。</p>

項目 4

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして		
	1 区民が進めるごみ減量・資源回収の促進		
	(1) 地域や家庭におけるごみ減量・リサイクル活動の促進		
項 目	区民が自主的に行うごみ減量・リサイクル活動の促進		
目 標	登録団体数および回収量を前年度より伸ばすこと		
取組内容	a) 集団回収団体の育成や集団回収による資源回収を増やすために、集合住宅への働きかけを行い、集団回収事業への参加を推進する。	進捗状況	<p>町会や集合住宅へ文書や口頭で勧奨を行った結果、集団回収登録団体および回収量が増加した。</p> <p>回収量 : 9,956 t (前年度比10%増) 登録団体 : 414団体 (前年度比13%増)</p> <p>進捗評価 目標値を達成した。</p>

項目 5

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして		
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進		
	(1) 資源回収事業の推進		
項 目	資源回収事業のしくみづくり		
目 標	回収場所の総数をごみ集積所数に近づけるとともに、回収量を前年度より伸ばすこと (財)練馬区都市整備公社への事業委託により効率的な運営がなされていること		
取組内容	a) 区民が、分別して出しやすいようにするため、回収場所の増設を進める。	進捗状況	<p>区民からの要望を踏まえ、街区路線の回収場所を増設し、回収量が増えた。</p> <p>街区路線回収場所 : 11,238か所 (前年度比4%増) 街区路線回収量 : 9,385 t (前年度比1%増)</p> <p>進捗評価 目標値を達成した。</p>
	b) 資源化事業の拡大と効率化を進めるために、(財)練馬区都市整備公社の活用を進める。		<p>資源回収品目の一つである容器包装プラスチック回収を22年度に委託した。</p> <p>容器包装プラスチック回収量 : 5,397 t</p> <p>進捗評価 新たに委託を開始した。</p>

項目 6

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして		
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進		
	(1) 資源回収事業の推進		
項 目	ストックヤード等の確保		
目 標	(仮称)練馬区資源循環推進センターを設置すること 粗大ごみおよび資源の持込可能な施設の運営をすること		
取組内容	a)ストックヤードとして取得した敷地の活用として、資源循環事業の中核的拠点となる(仮称)練馬区資源循環推進センターを設置し、粗大ごみおよび資源の持込もできる施設とする。	進捗状況	平成22年11月に新規に開設した練馬区資源循環センターにおいて、粗大ごみの日曜収集、粗大ごみ・資源の持込事業、粗大ごみ再利用事業、普及啓発事業等を実施した。
			進捗評価 施設が設置され、事業も順調に運営されている。

項目 7

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして		
	1 取り組み推進のためのネットワークづくり		
	(1) 区民・事業者・区の交流とネットワークづくり		
項 目	区民・事業者・区による、情報交換や協議の場づくり		
目 標	懇談会を開催すること それぞれの立場で出来るごみ減量策を検討すること		
取組内容	a)ごみ減量に向けた区民・事業者・区の三者による懇談会の開催を実施する。	進捗状況	平成21年度のごみ減量懇談会では、ごみ減量・環境配慮等への取り組み状況について、店舗への聞き取り調査を実施した。レジ袋の削減やマイバック持参の推奨、再生品の販売などの視点からの調査結果を参考に区民や事業者ができるごみ減量策について引き続き検討した。
			進捗評価 ごみ減量策を検討した。

(2) 継続する取り組み

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
項目	(1) 子どもの頃からの環境教育			
項目	保育園・幼稚園・学校等での環境・3R教育の推進			
目標	教職員等の意識啓発の実施や環境教育を充実すること			
取組内容	進捗状況	a) 児童館、学童クラブのエリア会議を利用した情報交換や保育園園長会での随時指導	<p>職場会議等を通じて、施設内の意識啓発を行うとともに、児童館・学童クラブのエリア会議を通じて指導員間で情報交換を行った。また、児童が環境問題に関心を持てるよう、使用済のおやつのおトレイを使った工作等に取り組んだ。</p> <p>保育園でもエリアごとの園長会や研究会で情報交換を行い、職員会議等を通じて意識啓発を行った。</p>	<p>進捗評価</p> <p>取組内容を継続している。</p>
		b) 区立幼稚園、保育園、小中学校において、環境マネジメントシステムの運用	<p>保育室、廊下等に複数のごみ箱やペットボトルキャップの回収箱を設置し保育園児によるごみの分別活動や節電、節水、グリーンカーテン等各園独自の環境教育を推進した。</p> <p>学校・幼稚園版環境マネジメントシステムの取り組みを活用し、環境教育の推進を図った。</p>	<p>進捗評価</p> <p>取組内容を継続している。</p>
		c) 小中学校において、クリーン運動実施協議会の開催や児童会活動、リサイクル委員会を中心としたアルミ缶回収や紙の分別徹底	<p>クリーン運動実施協議会を開催し、11月を中心に小中学校事業としてクリーン運動の実施と充実を推進した。また、児童会・生徒会やリサイクル委員会を中心としてアルミ缶回収や紙の分別等の実施を推進した。</p>	<p>進捗評価</p> <p>取組内容を継続している。</p>
		d) こどもエコクラブ事業としての環境クラブ活動の支援や環境作文コンクール事業の実施	<p>こどもエコクラブ事業の地域事務局として、環境クラブ活動を支援した(22クラブ447名)。</p> <p>また、小・中学生を対象とした環境作文コンクールでは、小学生456作品、中学生607作品の応募があり、16名が入賞した。環境作文集を1,300部発行した。</p>	<p>進捗評価</p> <p>取組内容を継続している。</p>
		e) 子どもと保護者が一緒に取り組めるエコライフチェックの実施	<p>区内小中学校の生徒とその家族を中心にエコライフチェック事業への参加を呼びかけ、区内小学校61校の3～6年生15,161人、区内中学校37校の1・2年生6,739人、小中学生の家族11,510人および特別支援学校36人の参加があった。</p> <p>なお、練馬区全体では36,080人の参加があり、一日の取り組みで3.34トンの二酸化炭素を削減した。</p>	<p>進捗評価</p> <p>取組内容を継続している。</p>

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(2) 環境学習の推進			
項目	環境・3R関連講座の充実			
目標	地域における環境・リサイクル活動を行っている団体への支援や育成すること			
取組内容	a) 環境活動団体登録の継続と活動状況の紹介	進捗状況	環境活動団体を登録し、区のホームページにおいて活動紹介を行った。 登録団体：16団体	進捗評価 取組内容を継続している。
	b) エコアドバイザーの育成と派遣事業の実施		ねりまエコ・アドバイザーの委嘱を行い、また「ねりまエコ・アドバイザー協議会」の支援を行った。 ねりまエコ・アドバイザー：73人 情報提供誌の発行：3回 総会：1回 フォローアップ研修：1回	進捗評価 取組内容を継続している。
	c) リサイクルセンターで、区民向け環境学習事業の実施		環境リサイクル講座やエコ生活講座などの講座を3リサイクルセンターで実施した。 参加人数：8,130人 講座数：183講座(延518回)	進捗評価 取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(2) 環境学習の推進			
項目	環境・3Rの学習機会の拡大			
目標	効率的な環境・3Rに係る普及・啓発事業を実施すること			
取組内容	a) 環境月間行事等の啓発事業を区民と共に実施	進捗状況	環境月間行事として「エコ生活のはじめの一步」をテーマとして、区内3か所のリサイクルセンターと区役所アトリウムを会場として、環境に関するパネル展示、体験講座(リサイクルセンターのみ)を行った。	進捗評価 取組内容を継続している。
	b) 清掃事務所が主となり、各種イベントでの啓発活動を実施		光が丘フェスティバル、環境リサイクルフェア、けやきまつり、武蔵関桜まつり、照姫まつり、消費生活展、その他地区祭等に参加し、啓発活動を実施した。 参加イベント数：20回	進捗評価 取組内容を継続している。
	c) 地域での啓発活動として青空集会を実施		青空集会を実施した。 実施回数：22回 参加人数：792人	進捗評価 取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(3) PR事業の推進			
項目	広報・PR活動の充実			
目標	3Rに関する情報の収集と提供を実施すること			
取組内容	a) ねりま区報、区ホームページでのPR活動を実施	進捗状況	「ねりま区報」にリサイクル関連記事を24回掲載したほか、リサイクルマーケットやリサイクルセンターの区民向け講座の開催予定をほぼ毎号掲載した。 また、「わたしの便利帳」、練馬区情報番組「ねりまぼっとライン」および公式ホームページで情報を提供した。	進捗評価 取組内容を継続している。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(3) PR事業の推進			
項 目	広報・PR活動の充実			
目 標	3Rに関する情報の収集と提供を実施すること			
取組内容	b)外国人向けのパンフレット、リサイクルセンターの情報誌発行	進捗状況	不燃ごみ収集を変更するのに伴い、英語・中国語・ハングル・タガログ語の「簡易版練馬区の資源・ごみの分け方と出し方」を発行した。 更に、3リサイクルセンターでは、情報誌を月1回発行した。	進捗評価 取組内容を継続している。
	c)清掃特集号の毎年度発行を検討		清掃特集号に替えて、清掃・リサイクル分野の情報誌「ねりまの環」を平成23年3月に創刊し、全戸配布によりごみ減量やリサイクルに関する情報を提供した。	進捗評価 新規に情報誌を発行している。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(3) PR事業の推進			
項 目	環境・リサイクルフェア、講演会等の開催			
目 標	各種イベントにおいて普及啓発活動を実施すること			
取組内容	a)環境リサイクルフェアの開催	進捗状況	22年度のテーマ 「いのちと地球の未来を ねりまから考える2010」 日にち : 平成22年10月17日(日) 会場 : 区立南町小学校 出展団体 : 26団体 来場者数 : 約3万人	進捗評価 取組内容を継続している。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(1) 家庭での発生抑制			
項 目	家庭における生ごみの発生抑制・資源化の取り組みの継続			
目 標	生ごみの発生抑制策と資源化を継続すること			
取組内容	a)家庭での生ごみ減量を推進するために、家庭用生ごみ処理機およびコンポスト化容器の助成事業を実施	進捗状況	家庭用生ごみ処理機およびコンポスト化容器のあっせん事業を継続した。 【購入費助成件数】 家庭用生ごみ処理機 : 102件 コンポスト化容器 : 52件 【あっせん件数】 生ごみコンポスト化容器 : 65件	進捗評価 取組内容を継続している。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(2) 事業所での発生抑制			
項 目	環境に配慮した事業活動の促進			
目 標	環境に配慮した事業活動の促進を図ること			
取組内容	a)環境に配慮した事業活動を促進するための事業者向け講演会の実施	進捗状況	平成22年7月8日に開催された(社)練馬産業連合会の環境セミナーにおいて講演を行った。	進捗評価 新規に講演を実施している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(3) 庁舎等区立施設での発生抑制			
項目	練馬区役所地球温暖化対策プランに基づくごみの発生抑制			進捗評価
目標	庁舎・区立施設等でのごみの発生抑制を図ること			
取組内容	a) 練馬区役所地球温暖化対策プランにおける「廃棄物の抑制・再利用・再資源(3R)の推進」	進捗状況	環境マネジメントシステムの「省エネルギーおよび省資源の推進に向けた手順書」を活用し、ゴミ分別の徹底や、飲食物等の容器のリサイクルを推進する等、練馬区役所地球温暖化対策プランの目標実現に向けた取組を推進した。	取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(3) 庁舎等区立施設での発生抑制			
項目	区主催行事等でのごみの発生抑制			進捗評価
目標	区主催行事でごみの発生抑制を図ること			
取組内容	a) ごみになりやすいものの使用を控えるとともに、電子媒体等を利用し配布資料等の減量	進捗状況	環境リサイクルフェアでは、会場内にごみ箱を置かず、ごみの発生抑制と持帰りを図った。 各課においては、「省エネルギーおよび省資源の推進に向けた手順書」を実践し、取り組んだ。	取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(1) 再使用の促進			
項目	リサイクルマーケットの支援			進捗評価
目標	実施団体への支援を図ること			
取組内容	a) リサイクルマーケット主催者への支援として、隔年で実施している養成講習会、公園使用許可、区報掲載等を実施	進捗状況	区民が主催するリサイクルマーケットに対し、公園使用許可・資材貸与・区報PR等の支援を行った。 登録団体：54団体 支援回数：162回 リサイクルマーケット主催者養成講座は隔年で実施しているため平成22年度は行っていない。(21年度実施済み)	取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(1) 再使用の促進			
項目	大型生活用品の再使用の促進			進捗評価
目標	再使用大型木製家具等の展示、販売等を継続すること			
取組内容	a) リサイクルセンターでの再生、再使用大型木製家具等の展示、販売	進捗状況	リサイクルセンターで大型家具等の展示販売を実施した。 販売実績：47,551点	取組内容を継続している。
	b) 大型生活用品リサイクル情報掲示板事業の継続と設置数増を検討		区立施設14か所に大型生活用品リサイクル情報掲示板を設置した。 譲ります：510件(成立252件) 譲ってください：106件(成立10件)	取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(1) 再使用の促進			
項目	区立施設の物品類の再使用			
目標	備品等の有効活用を図ること			
取組内容	a) 遊休物品情報の提供	進捗状況	各主管課からの依頼を受け、庁内グループウェアメールを通じて、不用品に関する情報を提供し、備品等の有効活用を促進した。 【幹旋実績】 19回、29品目、363点 このほか、学校統合に伴う物品の幹旋については、2,190点のうち403点の幹旋が成立した。	進捗評価 取組内容を継続している。
	b) 区立図書館の除籍図書の有効利用		区立図書館の除籍図書を、リサイクル本として利用者への提供および、近隣の保育園等教育施設への寄贈を行った。 リサイクル冊数：約67,000冊 内訳 学校・施設：約4,000冊 個人：約63,000冊	進捗評価 取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(2) 再生品利用の推進			
項目	再生品に関する情報提供			
目標	再生品の展示を継続すること			
取組内容	a) 情報提供の場として、リサイクルセンターで再生品の展示	進捗状況	リサイクルセンターにおいて再生品の展示を行っている。	進捗評価 取組内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(2) 再生品利用の推進			
項目	公共事業、区施設等における再生品の率先利用			
目標	公共事業、区立施設等における再生品の利用拡大を図ること			
取組内容	a) 物品および資材の購入に際しグリーン製品購入の推進	進捗状況	グリーン購入手順書に基づき、各課において周知を図った。	進捗評価 取組内容を継続している。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	1 区民が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 地域や家庭におけるごみ減量・リサイクル活動の促進			
項目	環境・3Rへの関心を高める働きかけ			
目標	資源とごみの分別指導を実施すること			
取組内容	a) 資源やごみの排出状況が良好でない集積所周辺への周知活動の徹底	進捗状況	区民、回収委託業者、清掃事務所等関係機関から広く情報を収集した。 排出状況に応じ、パンフレット、チラシの配布や看板の設置、町会回覧等を行った。 区民からの相談・情報をもとに、注意喚起ポスター掲示や排出調査等、排出状況の改善活動を実施した。	進捗評価 取組内容を継続している。

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			進捗評価
	1 区民が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 地域や家庭におけるごみ減量・リサイクル活動の促進			
項 目	再使用および再生品利用の促進			進捗評価
目 標	再使用、再生品利用への啓発活動を実施すること			
取組内容	a)さまざまな機会を利用して、再使用への呼びかけや再生品の利用を促すためのパンフレット等を発行	進捗状況	清掃リサイクル分野の情報紙「ねりまの環」を平成23年3月に全戸配布し、ごみの減量やリサイクルに関する情報を提供した。	取組内容を継続している。

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			進捗評価
	2 事業者が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 環境に配慮した事業活動の促進			
項 目	事業者による資源の自主回収の促進			進捗評価
目 標	事業者の自主的な資源回収、ごみ処理を促すこと			
取組内容	a)事業者の自主的な資源回収、ごみ処理を促すため、廃棄物管理責任者を対象とした講習会の実施	進捗状況	事業者の自己処理責任に基づく自主的なごみの処理、資源の回収を促進するため、廃棄物管理責任者を対象に講習会を実施した。 実施回数：4回 参加者数：158人	取組内容を継続している。
取組内容	b)事業用大規模建築物への立入り指導		床面積1,000㎡以上の事業用大規模建築物について立入調査を実施した。 立入件数 床面積3,000㎡以上 : 59件 1,000㎡～3,000㎡未満 : 55件	取組内容を継続している。

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			進捗評価
	2 事業者が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 環境に配慮した事業活動の促進			
項 目	自動販売機における容器等の回収設備の設置と資源化の促進			進捗評価
目 標	事業者の自主的ガイドラインに沿った設置がされるように要望すること			
取組内容	a)自動販売機での自主回収と資源化を促すように要望を実施	進捗状況	未実施。 (自主ガイドラインにより容器等の回収設備は8割程度整っているが、自動販売機設置の実態把握が難しいため、個々の設置者に対して要望するまでには至っていない。)	× 設置事業者への呼びかけを検討すること。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項目	区立施設でのリサイクルの推進			
目標	区立施設での古紙や生ごみ等をリサイクルすること			
取組内容	a) 練馬庁舎、その他区立施設での古紙等の資源化	進捗状況	区立施設から発生するものについて資源化を実施した。 【回収量、回収品目】 練馬庁舎 : 182 t 古紙、びん、缶、ペットボトル、トレイ、生ごみ、乾電池 他区立施設 : 732 t 古紙、びん、缶、ペットボトル、トレイ、古布、乾電池、シュレッダ-紙	進捗評価 取組内容を継続している。
	b) 区立施設、区立公園、区立小中学校、区立幼稚園における落ち葉のたい肥化		地区区民館等の区立施設、区立公園、区立小中学校、区立幼稚園において、落ち葉のたい肥化や剪定枝のチップ化を行った。	進捗評価 取組内容を継続している。
	c) 区立施設、区立小中学校における生ごみのたい肥化		区立施設の生ごみ資源化は良好に進んでおり今後も維持を図る。 回収施設 : 172施設 回収量 : 1,111 t 練馬の大地出荷量 : 20 t	進捗評価 取組内容を継続している。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項目	資源回収事業のしくみづくり			
目標	既存の資源回収品目を継続すること。また、新たな資源回収品目を検討すること			
取組内容	a) 既存の資源回収品目の継続。回収計画量は、一般廃棄物処理実施計画により公表	進捗状況	実績量 計画量	進捗評価
			古紙 28,160t 26,658t	取組内容を継続している。
			古布・古着 969t 877t	
	紙パック 36t 69t			
	びん・缶 7,751t 7,926t			
	ペットボトル 2,179t 2,222t			
	乾電池 101t 95t			
	容器包装プラスチック 5,397t 5,476t			
	廃食用油 19t 20t			
b) 効率的な資源回収システムの検討	事業ごとに回収車両台数の見直しを行うなど、より効率的で環境負荷の少ない回収方法の検討を継続した。 また、一部の資源回収を(財)都市整備公社へ委託した。	進捗評価 取組内容を継続している。		
c) 新たな資源回収品目の検討	新たにBDF精製、金属資源化事業を予定している。	進捗評価 取組内容を継続している。		

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項目	集合住宅の管理者等に対する指導、助言			
目標	集合住宅等の建築主等へ、資源と廃棄物に関する保管場所の設置や指導、助言をすること			
取組内容	進捗状況	a) 大規模集合住宅等への再利用対象物保管場所および廃棄物保管場所等の設置および指導・助言	【設置届受理件数】 床面積3,000㎡以上 : 12件 1,000㎡～3,000㎡未満 : 53件 その他(1Rマンション等) : 8件	進捗評価 取組内容を継続している。
		b) 集合住宅の管理者へ回収容器の貸出	集合住宅の希望に応じ、街区路線回収事業のコンテナ貸出しを行った。 貸出し件数 : 1,104件	進捗評価 取組内容を継続している。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(2) 区民・事業者への支援			
項目	区民の自主的なリサイクル活動への支援			
目標	集団回収事業を継続すること。また、リサイクルの推進に功績のあった区民等を表彰すること			
取組内容	進捗状況	a) 集団回収事業の実施	支援内容 ・ 1kgあたり6円の報奨金を支給 ・ 案内板、雨よけシートの貸出し ・ 空き缶プレス機の貸出し 回収量 : 9,956t (前年度比10%増) 登録団体 : 414団体 (前年度比13%増)	進捗評価 取組内容を継続している。
		b) 練馬区表彰条例を活用し表彰を検討	平成21年度に要綱を制定し、「練馬区環境清掃リサイクル功労者表彰式」を開催した。 被表彰者 : 8人、4団体	進捗評価 表彰式を開催した。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(2) 区民・事業者への支援			
項目	事業者による自主的なリサイクル活動への支援			
目標	商店街オフィスリサイクル事業を継続すること。また、リサイクルの推進に功績のあった事業者を表彰すること			
取組内容	進捗状況	a) 商店街オフィスリサイクルや事業系資源物の有料方式による回収事業の実施	商店街オフィスリサイクル事業を継続した。 【回収量】 オフィス古紙 : 14t 商店街ダンボール : 53t 街区路線回収事業において、事業系びん・缶・ペットボトルの有料回収を継続した。	進捗評価 取組内容を継続している。
		b) 練馬区表彰条例を活用し表彰を検討	平成21年度に要綱を制定し、「練馬区環境清掃リサイクル功労者表彰式」を開催した。 被表彰者 : 8人、4団体	進捗評価 表彰式を開催した。

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして			進捗評価
	1 取り組み推進のためのネットワークづくり			
	(1) 区民・事業者・区の交流とネットワークづくり			
項 目	それぞれの活動に関する情報提供			
目 標	情報収集と情報発信のシステムを運営すること			
取組内容	a)ごみ減量・リサイクル活動等を自主的に行っている各種団体の実態の把握方法を検討	進捗状況	平成23年度から集団回収支援事業を(財)練馬区都市整備公社に委託し、民間事業者ベースで各種団体との情報交換や活動支援を通じて、ごみ減量・リサイクル活動等を自主的に行っている各種団体の実態の把握をすることとした。	各種団体の実態の把握方法を検討した。

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして			進捗評価
	1 取り組み推進のためのネットワークづくり			
	(1) 区民・事業者・区の交流とネットワークづくり			
項 目	区民・事業者・区による情報交換や協議の場づくり			
目 標	練馬区環境清掃推進連絡会や事業者と連携しながら環境、清掃、リサイクルに関する事業を実施すること			
取組内容	a)町会・自治会等で構成している「練馬区環境清掃推進連絡会」や事業者等と連携しながら、環境・清掃・リサイクルに関する事業を実施	進捗状況	練馬区環境清掃推進連絡会と協働で、地域の環境・清掃・リサイクルに関する事業を実施した。 【主な活動内容】 ・区内一斉清掃 ・施設見学会 ・ポイ捨て・歩行喫煙防止キャンペーン協力	取組内容を継続している。

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして			進捗評価
	2 計画推進のしくみづくり			
	(1) 循環型社会推進会議の運営			
項 目	会議の運営と位置づけの検討			
目 標	循環型社会推進会議の運営をすること			
取組内容	a)円滑な会議体の開催・運営	進捗状況	平成22年7月に、第6期となる循環型社会推進会議を設置し、「リサイクル・清掃事業の効率化と負担のあり方」について諮問した。	取組内容を継続している。

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして			進捗評価
	2 計画推進のしくみづくり			
	(2) 区民・事業者の参画と実践の核となる推進組織づくり			
項 目	組織のあり方の検討			
目 標	実践の核となる組織づくりを検討すること			
取組内容	a)ごみ減量懇談会で組織づくりについて検討(重点的取り組みの項目7で検討)	進捗状況	未実施。 (平成21年度のごみ減量懇談会では、ごみ減量・環境配慮等への取り組み状況について、店舗への聞き取り調査を実施したが、22年度に組織づくりまでは至らなかった。)	× 懇談会で組織作りの検討をすること。